「産業競争力・研究力中核大学」の在り方について　これまでの議論の整理【概要】

参考資料２
産業競争力・研究力中核大学群に関するWG
（第４回） R8.11.16

文部科学省 経済産業省　第４回 産業競争力・研究力中核大学群に関するWG（R８.11.16）

１．現状認識と今後の対応の方向性

- **「科学とビジネスの近接化」**時代においては、国際競争力のあるイノベーション拠点を自国に有するか否かが産業競争力を左右する重要な要素
- 世界各国が成長を続ける研究大学を中核として競争力のあるイノベーション・エコシステムを形成する一方、**我が国の大学の国際的地位は相対的な低下傾向**にあり、このままでは我が国がグローバルなイノベーション競争から取り残されるだけでなく、**次世代の産業競争力を失う恐れ**
- 世界的にビジネスから科学への投資が拡大する中、我が国の産学共同研究は件数・金額こそ増加傾向にあるが、イノベーション創出につながり得る**大規模な産学連携は少ない上に、我が国の企業の研究開発費は海外向け支出額が増加傾向**
- **日本成長戦略**では、**「新技術立国」**実現のため、**戦略17分野を中心に産業競争力の強化に貢献する新たな大学群の形成**が求められている

今後の対応の方向性：「産業競争力・研究力中核大学」に係る制度の創設

２．目指すべき姿

産業競争力の強化へのビジョンとコミットメント、高度な研究力とガバナンス・経営力を有する大学が、**産業界にとって不可欠なパートナー**として位置付けられ、産業競争力の強化への貢献による対価獲得と戦略的な再投資により、**知・人材・資金が集積する拠点**として存在感を発揮

【政府に期待される役割】

- 我が国の**産業政策上の重要な研究拠点として大学を位置付け**、**産業界と大学による共同の大規模・中長期の研究開発・社会実装**や人材交流・育成等を通じた産業競争力の強化を後押し。そのために必要な大学・産業界双方の変革についても、大学政策・産業政策を有機的に連動させ強力に推進
- 戦略17分野を中心に、**最先端のコアファシリティ等の研究基盤**や**学内外の「知」を結集**させ、大学の**産業界の課題・ニーズに応える経営・産学連携機能や研究力を強化**

【「産業競争力・研究力中核大学」に期待される役割】

- **産業政策と適合した産業競争力の強化へのビジョンとコミットメントを有し、高度な研究力**と**ガバナンス・経営力**を基盤に、強みを有する分野の**将来構想**を描き、国内外の研究者や企業・資金を惹きつけ、**産業の発展と競争力強化をけん引**
- 貢献に見合う**対価獲得**と**戦略的な再投資**による**持続的な成長サイクル**を確立

【産業界に期待される役割】

- 研究開発や人材育成等、**自社・産業界の成長戦略の実現に不可欠なパートナーとして大学を位置付け**、**経営層の強いコミットメント**の下、**大規模かつ中長期の投資・連携**を戦略的に推進
- 大学への投資を「コスト」ではなく**「自らの将来の競争力への投資」**として捉え直す

3.「産業競争力・研究力中核大学」に係る制度の在り方

全体像：大学・産業界の行動変容を促すため、**「大学選定」**と**「民間投資の後押し」**を一体的かつ予見可能性を確保して行う仕組みを構築

産業競争力の強化への貢献を主要なミッションに位置付け、そのための挑戦的な変革に中長期にわたって腰を据えて取り組む大学を**「産業競争力・研究力中核大学」に選定**。当該大学には自らのリソースを活用した取組が期待されるが、**国としてもその体制整備を後押し**する必要

※大学選定の際、政府はイノベーション・エコシステムの核として産業・研究の発展をけん引する役割を真に果たすことができる大学・分野に厳選

産業界から大学への果敢な投資を促すため、**企業と大学の大規模・中長期の研究開発・社会実装プロジェクト**について、我が国の産業競争力の強化に対し十分なインパクトをもたらすことが期待され、円滑かつ確実に実施されると見込まれるものを**選定し、国が後押し**する必要

※その他、ステージゲート/評価制度の構築、規制緩和等についても必要な検討を実施